

宮原徹の オープンソース 花浪記



第2回 一般向け／ビジネス向けのOSC

宮原 徹(みやはら とおる) [Twitter](#) @tmiyahar 株式会社びぎねっと

OSCは土曜日開催が基本です

オープンソースカンファレンス(以下OSC)は全国各地で開催していますが、通常の開催ではオープンソースのビジネスを行っている企業と、ボランティアに活動しているいわゆるコミュニティが一緒になって展示やセミナーを行っています。

東京や京都といった規模の大きな開催では金曜土曜と2日間の開催ですが、ほとんどは1日開催です。これは、参加対象となるエンジニアのみなさんが平日に仕事を抜け出して、あるいは有休を取得して参加するのが難しいという事情を鑑みてのことです。

そのため、出展している企業のみなさんには休日出勤をしていたり、人員のサインなどにご苦労をおかけして

いることになり申しわけないです。また、「子供の行事と重なって……」という理由で参加いただけないこともあり、なかなか開催日程を決めるのも難しいなあという感じています。今のところは最大公約数としての土曜日開催(あるいは祝日開催)というのが定着しています。

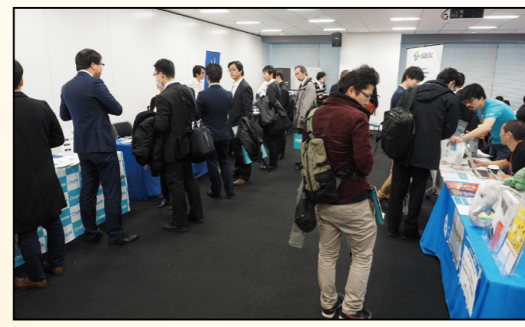
ビジネスのためのOSC. Enterprise

一方で、「ちゃんとビジネスとして平日参加できるよ、むしろ土曜日に参加するのは難しいよ」という声も一定数あります。このようなご要望にお応えするため、ビジネス中心、企業中心での開催となる「OSC.Enterprise」を別シリーズとして東京と大阪で開催しています。東京は2015年12月9日(水)、大阪は2016年1月29日(金)に開催されました。

ビジネス向け開催というだけあって出展するのはほとんどが企業ですが、LibreOfficeやCMSなど、多少ビジネス色があるコミュニティも出展しています。それでも、全体的な雰囲気は文化祭のような普通のOSCに比べると、スーツ着用率も上がりますし、いわゆるビジネスイベントに近いものになります(写真1、2)。これはこれで、オープンソースが着実にビジネスで利用されるようになっていくということを見える化するためには大事なことだと思っています。

平日に開催するだけでなく、会場選びも少しビジネス寄りになっています。東京は渋谷駅から徒歩数分の貸しホール会議室、大阪もJR大阪駅と空中歩道でつながったビル内の貸し会議室と、便のよい場所を選んでいきます。普通の開催が大学や専門学校、公共施設などを利用しているのに比べると、来場

▼写真1 OSC.Enterprise大阪。ビジネス向けなのでスーツ多めです



▼写真2 懇親会はなかったのに打ち上げに串揚げです。ソース二度付け禁止



第2回 一般向け／ビジネス向けのOSC

しやすさは格段に上がります。

普段の開催も交通の便のよいところにしたのはやまやまですが、OSCは広い展示スペースとたくさんの方のセミナー会場が必要になるため、そのような場所は学校の校舎などでないと見つけられないのと、もし条件に合う会場があったとしても利用料が高過ぎるという悩ましい問題があります。

来場者アンケートに「会場が遠い」と書かれることも多いのですが、そういう事情があるのです。とくに都心部での開催は一度早稲田大学の校舎をお借りして開催したのですが、やはりスペースが不足して廊下を歩くことすらできないという状態でした。どこかよい会場があれば、教えてもらえるとうれしいです。

OSC浜名湖は会場の一体感が魅力

一方で、コミュニティ中心の開催となる小規模な開催も独自の魅

力があります。2016年1月23日(土)に開催されたOSC浜名湖は、浜松市市民協働センターという公共施設のギャラリースペースを借りて開催されました。ギャラリーというだけあって、仕切りのない広いスペースです。そこにスクリーンとプロジェクター、客席を

配置し、それをL字に囲むように展示スペースとして机を配置しま

す。間に遮るものがないので、展示スペースにいる人もセミナーの様子を見聞きできます。通常の開催ではセミナー会場は別ですから、セミナー開催中は展示スペースがガラーンとしてしまうことがほとんどですが、このような一体化した会場だと常に賑やかな感じになります(写真3)。

もちろん、セミナー中に展示スペースでの話し声や、ときには笑



▲写真3 2015年ゆるキャラグランプリで優勝した「出世大名康くん」も来場

い声なども聞こえてきてしまうのは難点ですが、セミナーも1つだけ、参加者も100名程度の開催規模であれば深刻な問題にはならないで済んでいるようです。

同じようなスタイルで昨年は新潟でも開催しましたし、今後未開催地域での開催はこの展示セミナー一体型のスタイルか、OSunCとしてもっとカジュアルに開催するかのいずれかの方法で全国展開していけそうです。☞

Report

前夜祭から懇親会まで 大盛り上がりの浜松

「浜松といえばマインシュロス」というぐらい、地ビールが美味しい店があります。今回はOSC当日が貸し切り営業だったため、有志で前夜祭を開催しました。ドイツスタイルのビールや店内で大盛り上がりでしたが、本番は翌日なのでほどほどお開き。



▲OSC浜名湖前夜祭。マインシュロスのビールで乾杯! 浜松の杉本さんと

OSC浜名湖開催後の懇親会は、30名席に38名を詰め込み身動きが取れないぐらい盛況でしたが、全国の地酒が飲み放題という素敵な店でした。静岡の地酒を飲み比べたり、東北地方の地酒を飲み比べたり。その後、2次会、3次会と、浜松の夜は更けていくのでした。



▲OSC浜名湖懇親会。参加者が多過ぎてキューキュー詰めです

